

## 刊行によせて

---

神奈川大学日本常民文化研究所は、戦後間もなく行われた漁業制度資料調査による史・資料 25 万点を含む膨大な資料を所蔵し、また民具研究を中心に長年にわたり「常民」、すなわち庶民の生活文化に関する多方面の調査・研究を行ってきました。その実績が評価され文部科学省の 21 世紀 COE プログラムに採択され、「人類文化研究のための非文字資料の体系化」（2003～2007 年度）の拠点となり、その後、事業は同研究所に付置された非文字資料研究センターに引き継がれています。さらに、2009 年度には国際常民文化研究機構として文部科学省から共同研究拠点に認定され、5 年度にわたる事業を推進することになりました（「平成 21 年度人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業」、現「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」）。

機構設立の目的の一つは、日本常民文化研究所の創設者・渋沢敬三（1896～1963）の「ハーモニアス・デヴェロップメント」精神を受け継ぎ、国内・外の研究者コミュニティに広く「常民文化」研究の史・資料と場・機会を提供し、その学際的・国際的展開をはかり、研究分野を拡大、深化させることにあります。そのために、当該学界・研究者コミュニティの意見の反映をはかり学外の研究者が過半数を占める運営委員会を組織し、その論議のもとに、5 つの研究分野——1. 海域・海民史の総合的研究、2. 民具資料の文化資源化、3. 非文字資料（画像・身体技法・景観）の体系化、4. 映像資料の文化資源化、5. 常民文化資料共有化システムの開発——を設定し、応募条件をホームページ上に公開するなど広く年度ごとに公募を呼びかけ、プロジェクト型共同研究を進めることにしました。その結果、上記の 5 研究分野に応じ下記の 8 課題、

- 1 - 1 漁場利用の比較研究（研究代表者 田和 正孝）
- 1 - 2 日本列島周辺海域における水産史に関する総合的研究（研究代表者 伊藤 康宏）
- 1 - 3 環太平洋海域における伝統的造船技術の比較研究（研究代表者 後藤 明）
- 2 - 1 民具の名称に関する基礎的研究（研究代表者 神野 善治）
- 2 - 2 東アジアの民具・物質文化からみた比較文化史（研究代表者 角南 聡一郎）
- 3 アジア祭祀芸能の比較研究（研究代表者 野村 伸一）
- 4 アチックフィルム・写真にみるモノ・身体・表象（研究代表者 高城 玲）
- 5 第二次大戦中および占領期の民族学・文化人類学（研究代表者 泉水 英計）

が設定され、80 人余の共同研究者がつどうことになりました。研究代表者には神奈川大学以外に所属する最適任者が選任されましたが、4 と 5 は、日本常民文化研究所が所蔵する資料を直接扱い、諸権利関係も存在するため神奈川大学の教員が任じることになりました。

本書は、そのうちの、2 - 1「民具の名称に関する基礎的研究」（研究代表者 神野善治）班の研究成果報告書「地域呼称一覧編」となります。

本共同研究は、庶民の生産活動や生活を解明するには、民具は有形の物質文化であるだけに第一級の基本資料となりうるという観点から、その民具の概念を学術用語としての“*mingu*”として国際的に普及させた民具研究の進展を図ることを目的として推進してきました。そのためには、考古学や科学技術史の分野におけるように、物に対応した共通名称を設置する必要があることをかねてより求められてきました。しかし、民具の命名には、それぞれの民族の自然観や世界観が反映し、

また、地域性、時代性、階層性などさまざまな属性が加わり、その上、近代化の中での位置付けも問われるなど、共通名称を設定することは一筋縄ではいきません。そこで、全国的な視野で比較するための手がかりとして、国指定のコレクション、あるいは、博物館資料として収集整理されている民具を中心に民具名の一覧を作成するという作業を行うとともに、各地域の民具名一覧の作成を進めてきました。

これらの活動により、検討を加え両極の視点からまとめた全国版と地域版の「民具名一覧」が主な成果となります。全国版の民具名一覧は、すでに2013年度に『国際常民文化研究叢書6 一民具の名称に関する基礎的研究―[民具名一覧編]』として刊行しています。

本書は、さらに各地域ならではの特色のある、地域呼称（方言名）の民具名一覧を「地域呼称一覧編」として編集したものです。併読していただくことにより、全国的な地域のデータ間の比較が可能になるものと思われます。

今後、研究はさらに進化を遂げていくこととなりますが、本書作成に関わられた方々に改めて謝意を表すとともに、読者におかれましては、引き続き国際常民文化研究機構の事業にご助言と、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年3月吉日

神奈川大学日本常民文化研究所長  
国際常民文化研究機構運営委員長

田上 繁